



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

産業振興
環境
保健福祉

インバウンドの問題やオーバーツーリズムへの対応について

問 今後、当市においてもインバウンドの増加やオーバーツーリズムが予想されるが、それにより懸念される問題と対応策は。

部長 登山シーズンや観光シーズンには、市内や周辺道路で交通渋滞が発生し観光客の移動や地域住民の生活に大きな影響が出る可能性があります。またゴミの問題、騒音、住民とのトラブル、自然環境への影響などが懸念されます。これらの問題に対応するためには公共交通機関の利用促進、観光客向けマナー啓発や情報提供、多言語対応の強化、インフラ整備のほか分散化のための新たな観光資源の発掘や開発など様々な対策の検討が必要だと考えます。観光客だけでなく地域住民、事業者、行政が一体となって

取り組んでいくことが重要だと考えます。

ゴミの回収とリサイクルについて

問 青木平区の実績の成果を踏まえ、ゴミ出し困難家庭についての対応を検討していったらどうか。



部長 訪問介護事業者への調査など市域全体のゴミ出し困難世帯の状況把握に努めてきたが、現在まで戸別回収でなければゴミ出しができないという高齢者は報告されていない。将来的に戸別回収を含めた直接的な戸別支援が必要となった際には地域の実情に応じたより具体的な支援策について検討を進めていきたい。

問 有料を前提としても、粗大ゴミの戸別回収を行うことを検討できないか。

部長 現在、相談等があった場合は収集運搬業者やインターネットサービスを紹介している。県内市町に確認したところ、市で回収を行っている市や回収業者に委託しているところもある。高齢者の増加に伴い今後の課題と考えている。実施する場合の課題等を研究していきたい。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(無会派)

病 院
消 防

将来を見据えた市立病院整備と医療体制の在り方について

問 新築建て替えを断念した理由。

部長 市立病院の経営予測、市の財政見通しなどを総合的に勘案した。



問 看護師の退職状況とその要因分析。

部長 転出や家族の介護や結婚・出産・育児など身体的負担が要因。看護師の離職率は全国平均11%のところ当院は7%。

問 地方独立行政法人化や民間医療機関との連携は考えていないか。

部長 地方独立行政法人化の考えはない。

問 新築と増改築の比較の金額のデータは。

部長 新築1床当たり1億円。増改築は未定。

問 新築断念の決定はあり方委員会が決定したのか？

部長 今後の課題等の整理をしたのがあり方委員会で、課題に基づいて当局と協議した。

問 富士市立中央病院は富士市と静岡市等の患者がターゲットで、富士宮市の対応はあまり想定していないのではと感じられているが。

病院長 富士市立中央病院はどちらかというと富士市内の医療に集中したいという意向が強い。

消防長 富士市への搬送件数は全体の約3%。

意見 市長は財政は余力があるといっている。ならば、今が絶好のチャンス。たった一つの産科への依存リスクも心配。皆さんの英知を結集し、何としてでも新築の方向に持っていただきたい。

閉塞感を生み出す市政運営とその打開策について（郷土史博物館を巡って）

問 市民と同じ目線で歩もうとする気持ちが大事、4860人の署名に対して「その程度」の言葉を撤回する気持ちはないのか。

市長 大変なことだったと思うが、もっと集まるかなとそこそこの数字かなと思う。